

ナースレーダー『看護部独自のマスコットキャラクターを作成』

函館中央病院 (函館市)

看護部独自のマスコットキャラクター

「中病(ちゅうびょう)ナースくん」が誕生!

社会福祉法人函館厚生院函館

中央病院(橋本友幸病院長・三

橋鈴代看護部長、527床)看護部

に、独自のマスコットキャラク

ターが誕生しました。その名も

「中病(ちゅうびょう)ナース

くん」。今後、看護部で作成す

る資料や患者用パンフレットな

どで活用していく予定です。

デザインを考案したのは未熟

児センター看護師の林彩希さん。

名称は、同病院の略称「中病」

から命名されており、「チュウ」

はネズミの鳴き声、「ナース」は

ナスビをイメージしたキャラク

ターデザインとしました。

林さんは幼少時から絵を描くこ

とが好きで、未熟児センターに入

院している患児のマーゲンチャー

ブを止めるテープなどに人気漫画

などを描き、面会に来たお母さん

にも喜ばれているといいます。

「看護部の研究発表時にイラ

ストを掲載したスライドを活用し

たところ、三橋看護部長から『看

護部のマスコットを作ってはどうか』と声をかけられ、制作のき

かけとなりました」と林さん。耳

の中のハートマークなど、優しさ

や可愛らしさのイメージの具現化

にこだわり、8体のキャラクター

を作成した中から選ばれました。

今後は病院公認の看護部のマ

スコットキャラクターとして、

患者用パンフレットや新人看護

師用のチェックリスト、研修資

料などに活用していく予定です。

三橋看護部長は、「可愛らし

いキャラクターを見て、患者さ

んの会話のきっかけや、癒しに

つなげることができれば」と、

「中病ナースくん」の「活躍」

に期待しています。



マスコットキャラクター
中病ナースくん